

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【公表番号】特表2010-527478(P2010-527478A)

【公表日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-032

【出願番号】特願2010-507538(P2010-507538)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/14 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/14 3 5 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月12日(2011.4.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピュータ実行可能な命令が記憶されているコンピュータ可読記憶媒体であって、コンピュータ実行可能な前記命令は、コンピュータによって実行されると、前記コンピュータに、

第 1 のアプリケーションにより、前記第 1 のアプリケーションの第 1 のユーザ・インターフェースを前記コンピュータのディスプレイに表示するステップであって、前記表示される第 1 のユーザ・インターフェースは前記第 1 のアプリケーションの第 1 のデータ・コンテンツを含み、前記第 1 のアプリケーションは前記第 1 のデータ・コンテンツを制御する、ステップと、

第 2 のアプリケーションにより、前記第 1 のユーザ・インターフェースが表示されている間に、前記第 2 のアプリケーションの第 2 のユーザ・インターフェースを前記コンピュータのディスプレイに表示するステップであって、前記第 2 のアプリケーションは前記第 1 のアプリケーションとは別個であり、前記第 2 のアプリケーションは前記第 1 のアプリケーションをモニタするように構成され、前記表示される第 2 のユーザ・インターフェースは前記第 2 のアプリケーションによって前記表示される第 1 のユーザ・インターフェースに接続され、前記表示される第 2 のユーザ・インターフェースは前記第 2 のアプリケーションの第 2 のデータ・コンテンツを含み、前記第 2 のアプリケーションは動作環境にアクセスして前記第 2 のデータ・コンテンツを生成し、前記動作環境は前記コンピュータを含み、前記第 2 のデータ・コンテンツは前記第 1 のデータ・コンテンツを記述し、前記第 1 のアプリケーションは前記第 2 のアプリケーションとは独立に機能する、ステップと、を含む方法を実行させる、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 2】

請求項 1 記載のコンピュータ可読記憶媒体において、前記第 2 のユーザ・インターフェースは前記第 1 のユーザ・インターフェースに付属する、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 3】

請求項 1 記載のコンピュータ可読記憶媒体において、前記第 2 のアプリケーションは前記第 1 のアプリケーションをモニタする、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 4】

請求項 3 記載のコンピュータ可読記憶媒体において、前記第 1 のデータ・コンテンツと

前記第 2 のデータ・コンテンツとは異なる、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 5】

請求項 3 記載のコンピュータ可読記憶媒体において、前記第 1 のアプリケーションは前記第 2 のアプリケーションと独立して動作する、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 6】

請求項 5 記載のコンピュータ可読記憶媒体において、前記方法は、

前記第 2 のアプリケーションによって前記第 1 のアプリケーションにフックインするステップと、

前記フックインに応答して前記第 2 のアプリケーションによって前記第 1 のアプリケーションをモニタするステップであって、前記モニタされる第 1 のアプリケーションは前記第 1 のアプリケーションとは独立に継続して機能する、ステップと、

を更に含む、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 7】

請求項 1 記載のコンピュータ可読記憶媒体であって、前記方法は、

前記第 1 アプリケーションによって入力イベントを受け取るステップと、

前記第 2 アプリケーションによって前記入力イベントを検出するステップと、

前記第 1 のアプリケーションによって受け取られた入力イベントに基づいて、前記第 2 のアプリケーションによって、前記検出に応答して、前記第 2 のユーザ・インターフェースにおいて前記第 2 のデータ・コンテンツを生成するステップと、

を含む、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 8】

請求項 1 記載のコンピュータ可読記憶媒体において、前記方法は、前記第 1 のアプリケーションのアプリケーション・プログラミング・インターフェースを介して前記第 2 のアプリケーションによって前記第 1 のアプリケーションにフックインするステップを更に含む、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 9】

請求項 8 記載のコンピュータ可読記憶媒体において、前記方法は、前記第 1 のアプリケーションのアプリケーション・プログラミング・インターフェースを介して前記第 2 のアプリケーションによって前記第 1 のデータ・コンテンツに関する情報を取得するステップを更に含む、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 10】

請求項 9 記載のコンピュータ可読記憶媒体において、前記第 2 のアプリケーションは前記第 1 のデータ・コンテンツに関する情報に基づいて前記第 2 のデータ・コンテンツを生成する、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 11】

請求項 10 記載のコンピュータ可読記憶媒体において、前記情報は前記第 1 のデータ・コンテンツの少なくとも一部の状態、コンテキスト又は選択を含む、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 12】

ユーザ・インターフェースを提供する方法であって、

コンピュータにおいて動作する第 1 のアプリケーションによって、前記コンピュータのディスプレイにおいて前記第 1 のアプリケーションの第 1 のユーザ・インターフェースを表示するステップと、

第 2 のアプリケーションによって、前記第 2 のアプリケーションの第 2 のユーザ・インターフェースを生成するステップであって、前記第 2 のアプリケーションは前記第 1 のアプリケーションとは別個であり、前記第 2 のアプリケーションは前記第 1 のアプリケーションをモニタするように構成され、前記第 1 のアプリケーションは第 2 のアプリケーションとは独立に機能する、ステップと、

前記第 1 のユーザ・インターフェースに付随する前記第 2 のユーザ・インターフェースを含む合成ユーザ・インターフェースを生成するステップと、

前記合成ユーザ・インターフェースをコンピュータのディスプレイに表示するステップと、

前記第 1 のアプリケーション又は前記第 2 のアプリケーションのいずれかにおいて入力コマンドを受け取るステップと、

前記入力コマンドに応答して前記合成ユーザ・インターフェースを修正するステップであって、前記第 1 のユーザ・インターフェースと前記第 2 のユーザ・インターフェースとを連動して修正するステップを含み、前記第 1 のユーザ・インターフェースと前記第 2 のユーザ・インターフェースとはそれぞれがウィンドウを含む、ステップと、

を含む、方法。

【請求項 13】

請求項 12 記載の方法において、前記合成ユーザ・インターフェースは前記第 2 のユーザ・インターフェースに隣接する前記第 1 のユーザ・インターフェースを含む、方法。

【請求項 14】

請求項 13 記載の方法において、前記合成ユーザ・インターフェースにおける前記第 1 のユーザ・インターフェースと前記第 2 のユーザ・インターフェースとは重なり合っていない、方法。

【請求項 15】

コンテキスト・データを提供する方法であって、

動作環境の中にあるコンピュータにおいて第 1 のアプリケーションを実行するステップと、

前記第 1 のアプリケーションを実行することによって、前記第 1 のアプリケーションの第 1 のユーザ・インターフェースを生成するステップであって、前記第 1 のユーザ・インターフェースは前記第 1 のアプリケーションと関連する第 1 のデータ・コンテンツを含む、ステップと、

第 2 のアプリケーションを実行するステップと、

第 2 のアプリケーションによって、前記第 2 のアプリケーションの第 2 のユーザ・インターフェースを生成するステップであって、前記第 2 のアプリケーションは前記第 1 のアプリケーションとは別個であり、前記第 2 のアプリケーションは前記第 1 のアプリケーションをモニタするように構成され、前記第 1 のアプリケーションは第 2 のアプリケーションとは独立に機能する、ステップと、

前記動作環境から前記第 2 のアプリケーションを実行することによって、前記第 1 のデータ・コンテンツと関連するデータを取得するステップと、

前記取得されたデータに基づき、前記第 2 のアプリケーションによって、前記第 1 のデータ・コンテンツとは異なる第 2 のデータ・コンテンツを生成するステップと、

前記第 2 のユーザ・インターフェースに隣接して付随する前記第 1 のユーザ・インターフェースを含む合成ユーザ・インターフェースを表示するステップと、

前記第 1 のアプリケーション又は前記第 2 のアプリケーションのいずれかにおいて入力コマンドを受け取るステップと、

前記入力コマンドに応答して前記合成ユーザ・インターフェースを修正するステップであって、前記第 1 のユーザ・インターフェースと前記第 2 のユーザ・インターフェースとを連動して修正するステップを含み、前記第 1 のユーザ・インターフェースと前記第 2 のユーザ・インターフェースとはそれぞれがウィンドウを含む、ステップと、

を含む、方法。

【請求項 16】

請求項 15 記載の方法において、前記第 2 のアプリケーションは前記第 1 のアプリケーションにフックインし、前記第 1 アプリケーションは前記第 2 アプリケーションによって実質的に修正されない、方法。